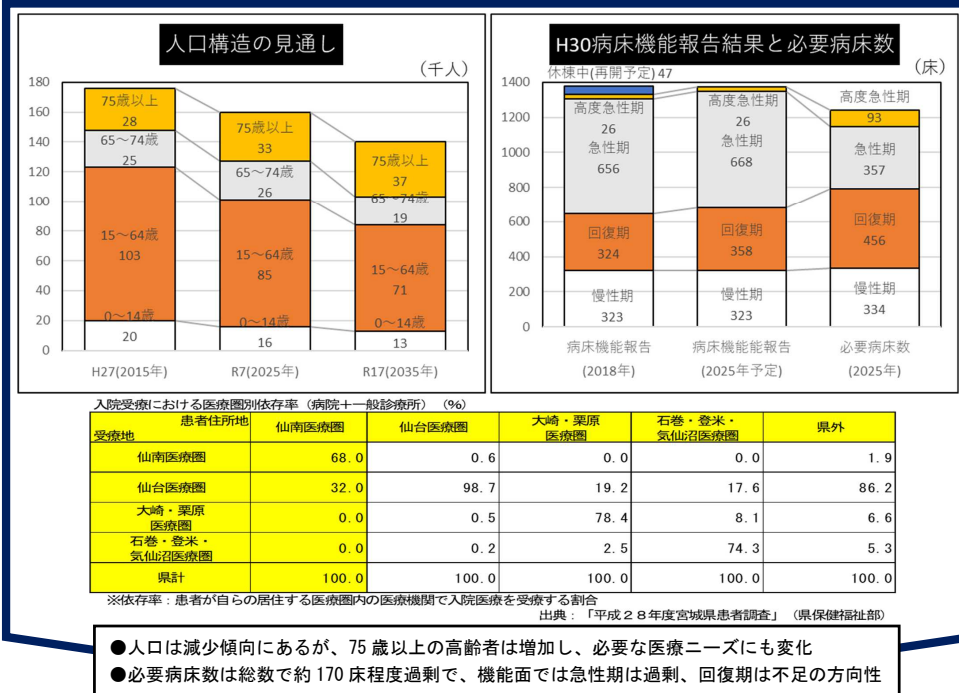


仙南区域の病床機能分化・連携について

1 仙南医療圏における今後の医療ニーズ



地域医療構想の着実な実現が必要

- 地域包括ケアシステムの構築
- 回復期機能の充実
- 在宅医療のシステムづくり

構想区域内で必要な医療機能の確保に向けて地域の医療機関の間での更なる連携強化が大切

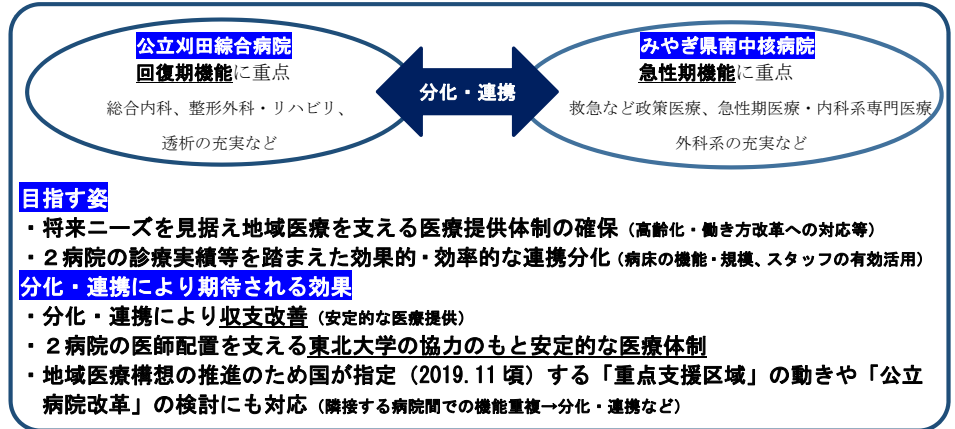
地域で急性期から在宅まで安心な医療体制確保

とりわけ、2つの中核的病院を核とした仙南区域の病院による一層の機能分化・連携により圏域全体の医療体制の充実・強化を図り、支えていくことが必須

病院連携による効果

- 効率的な医療の提供
- 医療従事者の確保と資質の向上
- 経営改善効果による負担の軽減

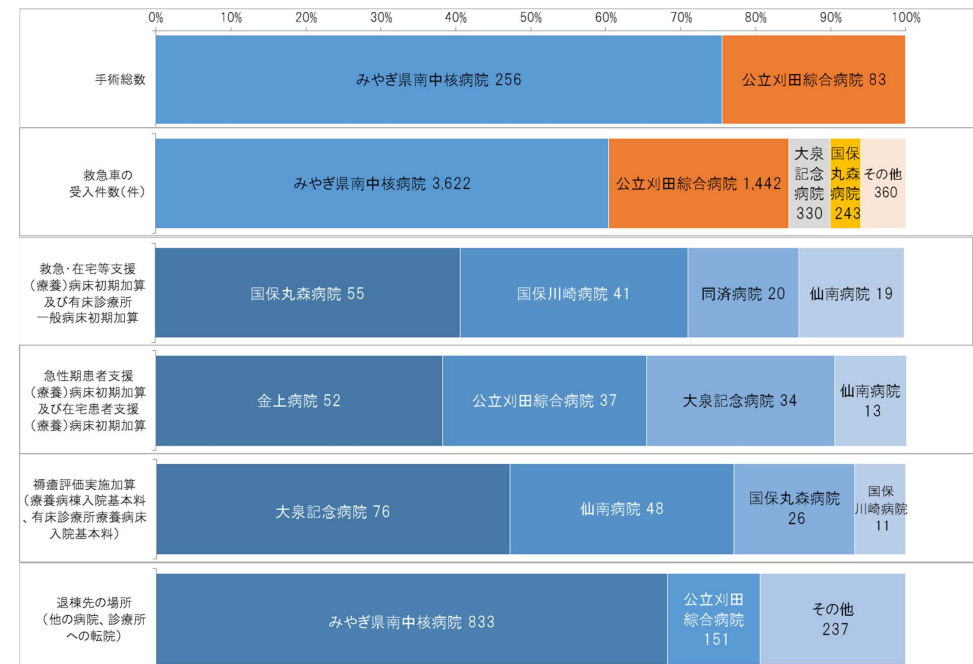
2 医療機能の連携



3 今後の方向性

- 地域医療構想調整会議(仙南区域)等を活用し、地域の課題を協議(協議の場合)
- 国からの助言、財政的支援を受けながら将来に向けて地域課題を解決(重点支援区域の指定)

<参考> H30 病床機能報告の結果(診療実績等)



件数は平成30年6月診療分(救急車受入及び退棟先の場所は平成29年7月1日～翌年6月30日)。病床ベースで1以上10未満の値は病床機能報告の公表において秘匿されているため、集計に含まれていない。